



日本シティズンシップ教育フォーラム
2019年度 事業報告書

(2019.01.01～2019.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋1丁目2番20号ハイツアメニティII-203号室
mail : jcef.edu@gmail.com web : <http://jcef.jp>

目次

| | |
|------------------------|--------|
| 1. 2019年度事業のハイライト | 2 |
| 2. 2019年度事業実施体制 | 2 |
| 3. 事業報告 | |
| (1) ネットワーキングの場の創出 | 4 |
| (2) 現場の関係者を応援するメディアの制作 | 11 |
| (3) 実践を広範に推進する社会環境の創造 | 13 |
| (4) その他 | 13 |
| 4. 会計報告 | 別添資料参照 |

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2019年度事業のハイライト

- (1) 「社会や政治への『参加のバリエーション』を増やす」を全体テーマに「第6回シティズンシップ教育ミーティング」を開催。日本全国から165名の方々が参加。
- (2) 「シティズンシップ教育研究大会2019」を初めて開催。日本全国から67名の方々が参加。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタヂオ」は東京で5回開催。神戸・京都の2地域で14回開催。
- (4) 機関誌「J-CEF NEWS」17号と18号を発行。
- (5) 「シティズンシップ教育人材養成講座」は東日本会場で1回開催。

2. 2019年度事業実施体制

J-CEFでは、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する機関として運営委員会を設置しています。事業の推進にあたっては、総会での議決に基づいて3つの部会を設置した上で、事務局にスタッフを配置し、その執行にあたっています。

■役員

【運営委員】

- 代表 古田雄一（大阪国際大学短期大学部専任講師）
黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）
- 副代表 杉浦真理（立命館宇治中学・高等学校教諭）
- 委員 大畑方人（都立高島高等学校教諭）
唐木清志（筑波大学大学院人間系教授）
川口広美（広島大学大学院教育学研究科准教授）
川中大輔（龍谷大学社会学部講師／シチズンシップ共育企画代表）
斉藤仁一朗（東海大学課程資格教育センター講師）
土肥潤也（NPO法人わかものまちな代表理事／早稲田大学大学院社会科学研究科修士課程）
西野偉彦（公益財団法人松下政経塾研修局主任／慶應義塾大学SFC研究所上席所員）
林 大介（首都大学東京特任准教授／模擬選挙推進ネットワーク代表）
東 大地（NPO法人Mielka理事）
古野香織（東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程）
若槻 健（関西大学文学部教授）

【顧問】

- 小玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授）
長沼 豊（学習院大学文学部教授）
中村陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）
水山光春（青山学院大学教育人間学部特任教授）

【監事】

- 市川享子（東海大学健康学部講師）
岡田泰孝（お茶の水女子大学附属小学校教諭）

〈ネットワーク部会〉

中村陽一，川口広美，川中大輔，黒崎洋介，林大介，古田雄一，藤枝聡（専門委員）

〈高校生ソーシャルデザイン・スクール検討タスクチーム〉

小玉重夫，大畑方人，川中大輔，杉浦真理，土肥潤也，中村陽一

〈シチズンシップ教育研究大会2019 実行委員会〉

唐木清志，川口広美，川中大輔，斉藤仁一朗，古田雄一，古野香織

〈出版企画検討タスクチーム〉

唐木清志，川中大輔，西野偉彦，古田雄一，水山光春

〈J-CEF スタディ・スタジオ担当委員〉

KOBE スタジオ：川中大輔，若槻健

KYOTO スタジオ：川中大輔，東大地

■事務局

事務局長/会計責任者 川中大輔

事務局スタッフ 東大地

■運営委員会開催記録

| | 日程 | 場所 | 議題 |
|--------|--------------------------------|-----------|---|
| 第 18 回 | 2019 年 3 月 4 日 19:00~21:00 | 東京大学/龍谷大学 | 2018 年度決算案および事業報告案の承認、 2019 年度予算案および事業計画案の策定 |
| 第 19 回 | 2019 年 5 月 27 日 19:00~21:00 | 東京大学/龍谷大学 | 2019 年度の事業推進方法について、会員資格 喪失について、事務局業務の分散化の検討 |

3. 事業報告

(1) ネットワーキングの場の創出

■「第6回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、「第6回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。



【開催概要】

- 日時：2019年3月23日（土）13時～3月24日（日）17時
- 場所：立教大学 池袋キャンパス 本館・太刀川記念館・12号館
- テーマ：「社会や政治への『参加のバリエーション』を増やす」
- 参加者：164名（会員19名，非会員40名，学生70名，登壇者29名，スタッフ登録のみ6名）
- 共 催：立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼ 全体会「社会や政治への『参加のバリエーション』を増やす」

・キーノートスピーカー

水山光春さん（青山学院大学教育人間科学部特任教授）

有賀久雄さん（松本工業高校教諭）

岩本真美さん（NPO 法人ヒューマンフェロシップ代表理事）

・コメンテーター

稲葉 剛さん（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授）

・コーディネーター

土肥潤也さん (NPO 法人わかののまち代表理事)

▼自由発表セッション

〈研究発表〉

- ・宮崎一徳さん (参議院事務局)
「『提案募集方式による地方分権改革』に見るシティズンシップ教育へのヒント」
- ・大石茂生さん (静岡県教職員組合立教育研究所)
「静岡はつ (初・発) シティズンシップ教育」 (研究発表)
- ・今 陽童さん (青山学院中部)
「社会契約説を追体験する授業」 (研究発表)
- ・岩瀬優さん (東京大学大学院教育学研究科修士課程)
「シティズンシップ教育における『無知な市民』の可能性-ガート・ビースタの議論に着目して-」
- ・木村充さん (立教大学経営学部)
「シティズンシップ教育における学びと成長～自己と社会をつなぐ Agentic Reflection～」 (研究発表)

〈実践発表〉

- ・青木祐一さん・原口和徳さん (けんみん会議)
「SIM (自治体経営シミュレーション) を用いたシティズンシップ教育の実践」
- ・梅津静子さん (筑波大学大学院教育研究科教育学 (国際教育) 修士プログラム 1 年)
野口貴大さん (筑波大学大学院教育研究科教科教育専攻社会科教育コース 1 年)
「教師の省察過程に着目した授業設計の試み」
- ・中村 顕さん (京都市立堀川高等学校)

〈授業体験〉

- ・小林孝由さん (京都市立紫野高等学校)
「模擬国連型授業の課題と可能性～効果的なアイスブレイクとリフレクションの模索～」
- ・窪田勉さん (兵庫県立兵庫高等学校)
「災害で試される多文化共生」
- ・平井竜一さん (シチズンシップ教育プロジェクト・逗子)
「市長の仕事と市民の役割」
- ・小林達矢さん (NPO 法人長野県 NPO センター)、榊原直樹さん (清泉女学院大学)
「オンラインゲームを用いた自治体シミュレーションゲームによる 政治・行政に関する疑似体験」

〈高校生対話セッション〉

- ・ファシリテーター
越智大貴さん (NPO 法人 NEXT CONEXION 代表理事)
永見優妃さん, 前千尋さん, 徳永彩羽さん (NPO 法人 NEXT CONEXION、愛媛県立松山西中等教育学校)
- ・コメンテーター

- 小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）
中村陽一さん（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授）
大畑方人さん（都立高島高等学校教諭）

▼分科会

〈第一セッション〉「東京オリンピック・パラリンピックでの『ボランティア活動』をどう考えるか？」

- ・ゲスト：唐木清志さん（筑波大学人間系教授）
桜井政成さん（立命館大学政策科学部教授）
足立陽子さん（首都大学東京ボランティアセンター）
- ・コーディネーター：林 大介さん（東洋大学ボランティア支援室）

〈第二セッション〉「新学習指導要領でシティズンシップ教育をどう展開するか？」

- ・ゲスト：木村裕美さん（都立駒場高校教諭）
児美川孝一郎さん（法政大学キャリアデザイン学部教授）
- ・コーディネーター：黒崎洋介さん（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）

〈第三セッション〉「暮らしの中の多文化共生にシティズンシップ教育はどう関わるか？」

- ・ゲスト：川口広美さん（広島大学大学院教育学研究科准教授）
立教サービスラーニング 受講学生
- ・コーディネーター：藤枝聡さん（立教大学国際センター課長）

〈第四セッション〉「広がる若者議会のネクストステージは？」

- ・ゲスト：土肥潤也さん（NPO法人わかものまち）
川上文浩さん（可児市議会議員）
かながわハイスクール議会 スタッフ
- ・コーディネーター：古田雄一さん（大阪国際大学短期大学部専任講師）

▼高校生・大学生発表セッション

〈研究発表〉

- ・望月秀伍さん（東京大学教育学部附属中等教育学校）
「学校教育に実演販売の形態を取り入れる」
- ・北村佳誉さん，益丸華奈さん，大塚匡広さん，鈴木里奈さん，林田彩音さん，滝口真亜子さん
（明治大学）
「若者議会と若者」
- ・三栗野優希さん（広島国際青少年協会）
「学校適応の視点からのシティズンシップ教育」

〈実践発表〉

- ・田中暉さん，上嶋美紀さん，今井花さん（兵庫県立兵庫高等学校）

「食と遊びで隔たりなき地域社会に！」

- ・大塚明さん，山野寛司さん（兵庫県立兵庫高等学校）
「長田区の高齢化にともなう課題への取り組み」
- ・岩佐遥介さん（吉野作造記念館）
「高校生デモクラシー塾」
- ・中西航太郎さん，土谷涼さん，山崎ランサム祈璃恵さん，柴田魁人さん，野口貴大さん
（新城市若者議会 教育ブランディングチーム）
「新城市若者議会における主権者教育の取り組み」
- ・高見史織さん（広島国際青少年協会・広島大学）
「サマースクール ぼくらの町」
- ・別木萌果さん（学生団体 ivote），管将大さん（特定非営利活動法人 Youth Create）
田口裕斗さん（NPO 法人 Mielka），古野香織さん（株式会社 POTETO Media）
「主権者教育出前授業の危機的未來」

▼クロージング

■「シティズンシップ教育研究大会 2019」を開催

J-CEF では、「シティズンシップ教育」というキーワードのもと、各々の問題関心や取り組んでいる研究を持ち寄りながら、学問領域の垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えることを目的として、「シティズンシップ教育研究大会 2019」を開催しました。



【開催概要】

- 日時：2019年8月26日（月）9時30分～16時30分
- 場所：大阪国際大学 守口キャンパス
- 参加者：67名（会員22名，非会員17名，学生24名，登壇者4名）
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼自由発表セッション

◎第1分科会 司会：川口広美さん（広島大学）

- ・濱本潤毅さん（東京大学大学院）
「シティズンシップとアイデンティティ：E. H. エリクソンの視点から」
- ・牧野直翔さん（東京大学大学院）
「分断社会を越えて：ジグムント・バウマンのコスモポリタンな視点」
- ・森山新さん（お茶の水女子大学）
「間文化的シティズンシップ教育としての日本語教育と教師の役割：第10回日韓大学生国際交流セミ

ナーの実践より」

◎第2分科会 司会：齊藤仁一朗さん（東海大学）

- ・猪股大輝さん（東京大学大学院）
「占領期後期日本における『公民性』概念と教育に関する一考察」
- ・宮崎一徳さん（参議院事務局）
「シティズンシップ教育とアドボカシー活動」
- ・高田春奈さん（東京大学大学院）
「『働き方改革』の課題から考える『シティズンシップ教育』：ハンナ・アレント『人間の条件』を手がかりに」

◎第3分科会 司会：杉浦真理さん（立命館宇治中学・高等学校）

- ・中谷佳子さん（千葉県浦安市立美浜北小学校）
「小学校社会科における主権者教育の一考察：社会の重層性を意識した单元構想」
- ・大石茂生さん（静岡県教職員組合立教育研究所）
「『静岡はつ（発・初）シティズンシップ教育』：学校現場からのとりくみと発信」

▼ランチタイムセッション

◎第1会場 コーディネーター：唐木清志さん（筑波大学）

- ・小原淳一さん（大阪市立大学）
「生徒会活動を指導する中学校教員の指導観の変化について：「あいさつ運動」の事例検討を通じた一考察」（研究構想）
- ・池田拓也さん（灘中学校・高等学校）
「KOBE 高校生豪雨災害ボランティアチーム実践報告：高校生と現場をつなぐ学校や教員の役割を考える」（研究構想）
- ・堀本麻由子さん（東海大学）
「高等教育におけるシティズンシップ教育のあり方：東海大学パブリック・アチーブメント型教育の事例検討を中心として」（既発表）

◎第2会場 コーディネーター：若槻健さん（関西大学）

- ・別木萌果さん（東京学芸大学学生）
「社会問題に対する自分の立場をメタ認知的に捉える社会科授業開発：『自己評価』に着目して」（研究構想）
- ・奥村尚さん（広島大学大学院）
「多様性理解と構造的不正へのアプローチとしての哲学対話の可能性：Critical P4C を手がかりとして」（研究構想）

- ・ 齊藤仁一朗さん（東海大学）

『「シティズンシップ教育」の歴史的研究の対象の射程と可能性について：『国民教育からシティズンシップ教育へ』の枠組みの問い直し』（研究構想）

◎第3会場 コーディネーター：川中大輔さん（龍谷大学）

- ・ 栗本拓幸さん（慶應義塾大学学生・NPO 法人 Rights）

「参画拠点としての生徒会活動：シティズンシップ教育・若者の政治参画の新しい形とは」（研究構想）

- ・ 久保美奈さん（広島大学大学院）

「どのようにして異なる他者と共存するか：障害の「社会モデル」の議論に注目して」（研究構想）

- ・ 橋崎頼子さん（奈良教育大学）、川口広美さん（広島大学）

「欧州評議会における市民性育成のためのカリキュラム編成原理：価値を中心とした民主的文化のためのコンピテンシー参照枠に基づいて」（既出発表）

◎第4会場

既に出版した論文等を持ち寄っていただき、それぞれの研究について紹介し合う（事前申込不要）。

▼パネルディスカッション

- ・ テーマ：「シティズンシップ教育研究の語られ方、語り方」
- ・ 登壇者：北山夕華さん（大阪大学）：教育学、教育社会学の立場から
中井好男さん（同志社大学）：日本語教育学の立場から
西尾雄志さん（近畿大学）：社会運動・ボランティア論の立場から
蓮見二郎さん（九州大学）：政治学、政治理論の立場から
- ・ コーディネーター 川口広美さん（広島大学）、古田雄一さん（大阪国際大学短期大学部）

▼クロージング

■J-CEF スタディ・スタヂオの開催

シティズンシップ教育に関係する報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタヂオ」を3地域において開催しました。

__<KOBE スタヂオ>__

- ・ vol.38 (1/27) 「大学における Community-Based Learning の方向性を考える-ポートランド州立大学の実践から（ポートランド報告）」

（話題提供者：川中大輔／龍谷大学社会学部講師・シティズンシップ共育企画代表）

- ・ vol.39 (2/8) 「大学における Community-Based Learning の方向性を考える-ポートランド州立大」



(話題提供者：川中大輔／龍谷大学社会学部講師・シチズンシップ共育企画代表)

- ・ vol.40 (5/23) 『『J-CEF NEWS』17号を読み込む会』

(J-CEF NEWSの特集記事を読んで対話する)

- ・ vol.41 (6/26) 「兵庫高校創造科学科の取組で社会課題への当事者意識は育まれたのか？」

(話題提供者：窪田勉さん／兵庫県立兵庫高等学校教諭)

- ・ vol.42 (9/25) 「住民一人ひとりが「自分ごと」として捉えられる地域づくりへの挑戦
～島根県・海士町「第3期隠岐島前教育魅力化構想」策定の事例から～」

(話題提供者：山中由紀子さん／元海士町教育委員会教育コーディネーター)

- ・ vol.43 (10/21) 「選挙の現場から考え直す主権者教育」

(話題提供者：原田謙介さん／元 NPO 法人 YouthCreate 代表理事)

- ・ vol.44 (11/20) 「若者の多様な参加の回路と社会的包摂-スウェーデン視察報告-」

(話題提供者：川中大輔／龍谷大学社会学部講師・シチズンシップ共育企画代表)

(2015年7月より毎月第一水曜日19時～21時、市民活動センター神戸会議室にて開催)

〈KYOTO スタジオ〉

- ・ vol.24 (1/11) 「ポートランドの実践から学ぶ住民主体のガバナンス～効果的な市民参加を実現するには？～」

(話題提供者：鈴木暁子さん／京都府立大学京都地域未来創造センター上席研究員)

- ・ vol.25 (2/8) 「大学における Community-Based Learning の方向性を考える-ポートランド州立大学の実践から (ポートランド報告)」

(話題提供者：川中大輔／龍谷大学社会学部講師・シチズンシップ共育企画代表)

- ・ vol.26 (5/24) 『『J-CEF NEWS』17号を読み込む会』

(J-CEF NEWSの特集記事を読んで対話する)

- ・ vol.27 (6/28) 「アメリカ「イリノイ・デモクラシー・スクール」の取り組み-学校全体で取り組むシチズンシップ教育への認証評価と改善支援-

(話題提供者：古田雄一／大阪国際大学短期大学部准教授)

- ・ vol.28 (7/26) 「性的同意 -中高生から、大人まで使える性教育-

(話題提供者：鈴木七海さん、樋口一葉さん／Genesis)

- ・ vol.29 (9/27) 「住民一人ひとりが「自分ごと」として捉えられる地域づくりへの挑戦
～島根県・海士町「第3期隠岐島前教育魅力化構想」策定の事例から～」

(話題提供者：山中由紀子さん／元海士町教育委員会教育コーディネーター)

- ・ vol.30 (10/25) 「改めて「ユースワーク」とは何なのか？」

(話題提供者：竹田明子さん／京都市ユースサービス協会チーフユースワーカー)

- ・ vol.31 (11/22) 「若者の多様な参加の回路と社会的包摂-スウェーデン視察報告-

(話題提供者：川中大輔／龍谷大学社会学部講師・シチズンシップ共育企画代表)

- ・ vol.32 (12/20) 「シチズンシップ教育では、今どのような教育者が求められているのか？」

(話題提供者：福田秀志さん／尾崎小田高等学校)

(2016年6月より毎月第2金曜日の19時～21時、キャンパスプラザ京都にて開催)

〈TOKYO スタジオ〉

・ vol.01 (5/25) 「学校の中の民主主義」

(話題提供者：筒井太加良さん／都内私立高校3年生、川名悟史さん／生徒会.jp 運営委員
古野香織さん／株式会社 POTETO Media、別木萌果さん／学生団体 ivote
Joachim Hansen さん／スウェーデンで教師を務めたのち、日本で研究活動中)

・ vol.02 (7/27) 「学校の中の民主主義～先生のホンネ～」

(話題提供者：大畑方人さん／都立高島高等学校、上田秀磨さん／一橋大学大学院)

・ vol.03 (9/1) 「学校の中の民主主義～子どもの市民性形成に学校風土が与える影響をとらへ～」

(話題提供者：古田雄一／大阪国際大学短期大学部准教授)

・ vol.04 (10/27) 「学校図書館・公共図書館とシティズンシップ教育」

(話題提供者：有山裕美子さん／工学院大学附属中学・高等学校 司書教諭)

・ vol.05 (12/7) 「教科書の全範囲を教えながら、主権者教育を日々行うことは可能なのか？」

(話題提供者：齊藤仁一朗さん／東海大学、喜井悠策さん／一般社団法人こたえのない学校)

(2019年5月より隔月の土日、東京大学や東海大学にて開催)

■ 「高校生ソーシャルデザイン・スクール (仮称)」に関する企画検討

政治参加や社会参加の実践や探求に取り組んでいる高校生世代の若者がネットワーキングを進めつつ、それぞれの実践や探求をブラッシュアップしていく場を提供していけるよう、「第6回シティズンシップ教育ミーティング」の高校生対話セッションにおいて本件に関する意見交換を行った。その後、タスクチームにおいて検討を進め、「第7回シティズンシップ教育ミーティング」の全体会の枠組みを活用して実施するプログラムを立案した。

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■ 「J-CEF NEWS」 vol.17-vol.18 を発行

シティズンシップ教育の好事例を発掘・紹介し、シティズンシップ教育を深く掘り下げる記事を中心とする会報誌「J-CEF NEWS」を発行しました。また、J-CEF 会員に向けては無料配布を行いました。



【第17号・概要】

- 判型・ページ数：A4版12ページ
- 発行部数：200部
- 掲載記事

- ・リレーエッセイ「地球温暖化とシティズンシップ」
／角野綾子（NPO 法人 JAE 教育コーディネーター）
- ・実践事例紹介「討論形式の授業の可能性 ―テキスト批評をベースにして―」
／橋本渉（東京大学教育学部附属中等教育学校教諭）
- ・特集「ソーシャルイノベーションにつながるシティズンシップ教育とは？」
／佐野淳也（同志社大学政策学部准教授）
- ・特集「児童・生徒が学校づくりに参加する学校
―ドイツの生徒参加を手がかりに考える、日本の学校が目ざすべきビジョン―」
／柳澤良明（香川大学教育学部教授）
- ・連載「スウェーデンの模擬選挙「学校選挙」が教える民主主義とは？
事務局 直撃インタビューその②」
／両角達平（文教大学生生活科学研究所研究員）
- ・推薦図書「教員に薦める 5 冊」
／西野偉彦（松下政経塾研修局主任・慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員）

【第 18 号・概要】

○判型・ページ数：A4 版 12 ページ

○発行部数：200 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ「参画への関心を摘まない環境を学校から」
／栗本拓幸（慶應義塾大学総合政策学部・一般社団法人生徒会活動支援協会）
- ・実践事例紹介「新科目「公共」を見据えた主権者教育の授業実践」
／大畑方人（都立高島高等学校教諭）
- ・実践事例紹介「那覇市繁多川公民館を市民の場とするために」
／南信乃介（特定非営利活動法人 1 万人井戸端会議代表理事，那覇市繁多川公民館館長）
- ・連載「スウェーデンの学校教育が考える「シティズンシップ」とは？」
／両角達平（文教大学生生活科学研究所研究員）
- ・推薦図書「NPO スタッフに薦める 5 冊」
／土肥潤也（NPO 法人わかものまちな代表理事）

■Web サイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ（催事案内・開催報告）を更新継続しています。会員同士のネットワーキングやノウハウ共有のプラットフォームとして活用できるよう、会員のみがログインできる「会員専用ページ」も公開しています。

○URL：http://jcef.jp

(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造

■「シティズンシップ教育推進人材養成講座」の開催

シティズンシップ教育を実践する人材に必要な知識的理解とプログラム開発に必要な技能の習得を図る場として、人材養成講座を開催しました。



〈東日本会場〉

▼第5回「地方自治とシティズンシップ教育

—あなたの街から考える—

- 日 時：2019年1月11日（金）19時～21時
- 場 所：文京シビックセンター3階会議室B
- 講 師：原田謙介（元NPO法人YouthCreate代表理事）

■若者を対象とする表彰制度の創設

「シティズンシップ教育ミーティング」における高校生・大学生発表セッションの場を活用して、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の活動を後押しすべく、発表証明書を発行しました。今後、この形式を継続／発展させながら表彰制度の創設を検討します。

(4) その他

- ・2019年3月9日～10日に早稲田大学にて言語文化教育研究学会が主催された「第5回年次大会（テーマ：市民性形成と言語文化教育）」を共催させていただきました。
- ・2019年11月4日にTKPスター貸会議室にて学習院大学文学部教育学科長沼豊研究室が主催された「第5回部活動のあり方を考えるミニ集会」を共催させていただきました。
- ・2019年11月9日に法政大学にてAsia Pacific Media and Information Literacy Education Centreが主催された「デジタル時代のシティズンシップ教育」を共催させていただきました。

4. 会計報告

別添資料参照

以上